



埼玉県連合教育研究会会長
楠木 隆

会員の皆様には、日ごろ埼玉県連合教育研究会の諸事業にご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

さて、平成29年6月16日の評議員会において、上亟啓介前会長の後を受け、伝統と格式のある本会の会長という大役をお引き受けすることとなりました。もとより微力ではありますが、本会発展のために全力を尽くしてまいりますので、温かなご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

本会は、県下全小・中学校の教員が参加する教育研究団体であり、全国的に少子化が叫ばれている中、本年度も総会員数30,506名と会員数を増やしています。会員の皆様は、それぞれの地域教育研究団体を通して本会及び教科等研究団体の活動に密接に結び付いており、本会は、皆様方会員一人一人の拠出する会費や学校負担金によって運営されています。このことを分かりやすくするために、また、第70号の会報発行も記念し、本会報に「組織運営図」、「会費の流れ図」、「Q&Aコーナー」等を掲載しました。皆様には、本会についてよりご理解を深め、本会の会員としての自覚と誇りを胸に、本年度も各地域教育研究団体及び各教科等研究団体の各事業並びに本研究会の諸事業に積極的に参加いただき自己啓発を図っていただければ幸いです。

ところで、平成29年3月末、改訂された学習指導要領が告示され、本年度の周知徹底期間後、平成30年度より移行期間がスタートします。各学校では、本会が共催しています教育課程説明会の復命等を通して、カリキュラム・マネジメントの確立に向け、教科等の横断的な学習を充実することや「主体的・対話的で深い学び」の充実、習得・活用・探究のバランスを考慮した指導過程の工夫等について共通理解が図られたことと思います。

また、言語能力の確実な育成や理数教育の充実、先行する道徳の特別教科化、体験活動や外国語教育の充実など、教育内容の改善事項がより具体的な説明の中で示され、各学校では、来年度を見据えた組織的な校内体制の整備が少しずつ進んでいることでしょう。

会員の皆様には、今後も、「教育立県・埼玉」の実現に向け、カリキュラム・マネジメントの確立と共に、下記の「活動方針と重点・努力点」に基づく研究への取組も併せてお願いいたします。

平成29年度 活動方針と重点・努力点

<活動方針>

- 1 未来を切り拓く教育の創造を目指して、着実な教育研究活動を継続し、埼玉県公立小・中学校等の教育の充実と発展に努める。
- 2 学習指導要領と埼玉県及びさいたま市の教育行政施策を踏まえて、各教育研究団体の特性を生かし、真摯に教育研究活動をすすめ、「教育立県・埼玉」の実現に努める。
- 3 郷土埼玉を愛し、地域社会の発展やグローバル社会に貢献する人材の育成を目指して、質の高い教育研究活動をすすめ、その実現に努める。

<重点・努力点>

- 1 確かな学力の向上を図るために、小・中学校9年間の連結性を踏まえた教育研究活動を一層推進する。
 - 2 豊かな心と健やかな体を育て、たくましく生きる力をはぐくむ教育研究活動を一層推進する。
 - 3 キャリアステージに応じた教員の資質の向上を図るため、組織的・継続的な教育研究活動を一層推進する。
- 各教育研究団体におかれましては、本年度も、本会報の研究目標や研究テーマに向けての自主的・創造的・組織的な日々の研究活動をより一層充実したものとしていただけるものと期待しております。

結びに、埼玉県教育委員会・さいたま市教育委員会並びに日本教育公務員弘済会埼玉支部の皆様には、ご指導、ご支援をいただき心より御礼申し上げ、あいさつといたします。



目次



・会長あいさつ、活動方針と重点・努力点 ……………	1	・教科等研究団体等の研究主題・研究内容 ……………	5
・平成29年度役員・評議員等 ……………	2	・地域教育研究団体のあゆみ ……………	9
・組織・運営図 ……………	3	・事務局だより・事務局所在地・Q&Aコーナー等 ……	13
・会費等の流れ ……………	4	・平成29年度研究論文募集要領 ……………	16

平成29年度 埼玉県連合教育研究会 役員・評議員等

1. 本部役員等

Table with 6 columns: 役職, 氏名, 所属, 役職, 氏名, 所属. Lists members of the executive committee and their affiliations.

2. 教科等研究団体

Table with 5 columns: No, 研究団体名, 会長名, 所属. Lists various subject-based research groups and their leaders.

3. 地域教育研究団体

Large table with 10 columns: 旧事務所, No, 研究団体名, 会長名, 所属, 旧事務所, No, 研究団体名, 会長名, 所属. Lists regional education research groups across different areas.

<平成29年度会員数 30,506名>

※1 越生班教育研究会【越生町・毛呂山町】
※2 小川班教育研究会【小川町・東秩父村】
※3 菅谷班教育研究会【滑川町・嵐山町】

※4 玉川班教育研究会【鳩山町・ときがわ町】
※5 秩父教育研究会【秩父市・横瀬町・小鹿野町・皆野町・長瀨町】
※6 児玉郡本庄市教育研究会【本庄市・上里町・美里町・神川町】

埼玉県連合教育研究会 組織・運営図



No.	教科等研究団体19
1	国語
2	書写
3	社会科
4	算数数学
5	理科
6	音楽
7	美術
8	保健体育
9	英語
10	道徳
11	特別活動
12	進路指導・キャリア教育
13	学校視聴覚
14	教育心理・教育相談
15	特別支援
16	学校図書館
17	中学校技術・家庭科
18	小学校家庭科
19	生活科・総合的な学習の時間

事務局長等研究協議会

正副会長会 6名
 ・会長 1名
 ・副会長 5名

常任理事・理事会 21名
 ・会長 1名
 ・副会長 5名
 ・常任理事 10名<地域>
 ・理事 5名<教科等>

評議員会 (総会) 113名
 ・会長 1名
 ・副会長 5名
 ・監事 3名
 ・常任理事 (新旧) 20名
 ・理事 (新旧) 10名
 ・評議員 教科等団体長 19名
 地域団体長 55名

活動方針作成委員会 8名
 ・会長 1名 ・副会長 2名
 ・常任理事 3名 ・理事 2名

会員【本年度 30,506名】
 ・公立小・中学校、特別支援学校
 ・埼玉大学教育学部附属小・中学校
 ・埼玉大学教育学部附属特別支援学校
 ・希望する私立中学校・特別支援学校等
 ・校長 ・副校長 ・教頭
 ・主幹教諭 ・教諭 ・養護教諭

事務局 4名
 ・事務局長
 ・幹事
 ・会報発行
 ・研究集録発行
 ・研究論文募集
 審査・表彰
 ・講演会

配分金
 旅費配当

会費負担金
 講演会補助
 論文応募表彰

助成：埼玉県・さいたま市・教育公務員弘済会

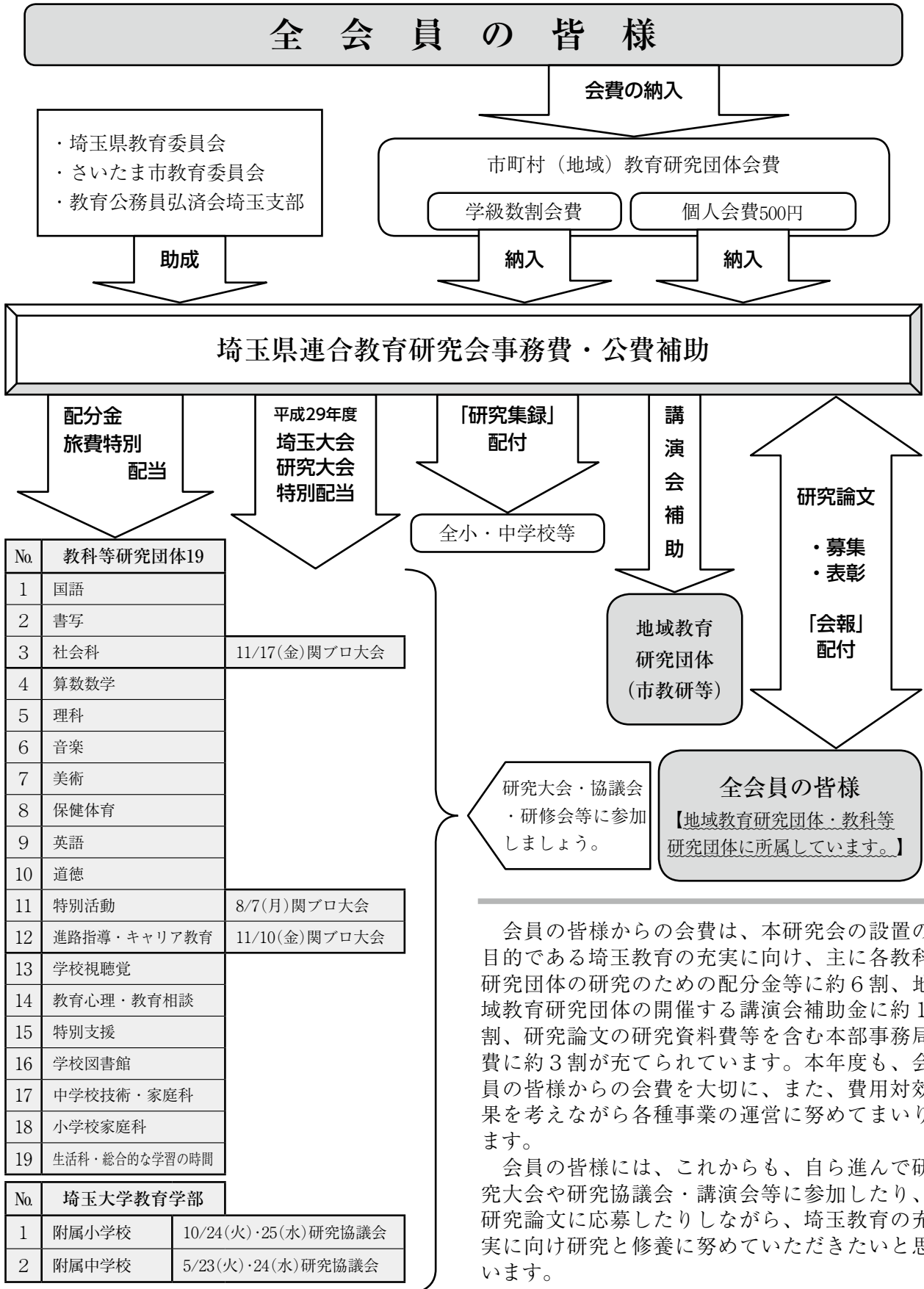
地域教育研究団体55 ※=複数市町村で構成		
1	埼玉大附属小	30 東松山市
2	埼玉大附属中	31 小川班※
3	さいたま市	32 菅谷班※
4	川口市	33 玉川班※
5	草加市	34 川島
6	蕨市	35 吉見
7	戸田市	36 秩父※
8	志木市	37 児玉郡本庄市※
9	朝霞市	38 熊谷市
10	新座市	39 深谷市
11	和光市	40 寄居町
12	埼玉大附属特別支援	41 行田市
13	鴻巣市	42 加須市
14	北本氏	43 羽生市
15	上尾市	44 春日部市
16	桶川市	45 越谷市
17	伊奈町	46 久喜市
18	川越市	47 三郷市
19	所沢市	48 蓮田市
20	飯能市	49 幸手市
21	日高市	50 八潮市
22	狭山市	51 杉戸町
23	入間市	52 吉川市
24	富士見市	53 松伏町
25	ふじみ野市	54 白岡市
26	坂戸市	55 宮代町
27	鶴ヶ島市	— 入間地区連合
28	越生班※	— 埼玉連合
29	三芳町	

教科等研究団体の全国・関東地区教育研究大会の開催予定 (平成29年6月28日現在)

小・中学校別	全国大会 (埼玉大会)		関東地区大会 (埼玉大会)	
	小学校	中学校	小学校	中学校
29年度			特別活動	社会科、特別活動、進路・キャリア
30年度	社会科		社会科	保健体育、英語
31年度	保健体育、特別支援	保健体育、特別支援	特別支援	特別支援
32年度				
33年度	算数数学	算数数学	算数数学	算数数学
34年度			道徳	
35年度			美術、学校図書館	国語、美術、道徳、学校図書館
36年度			生活・総合	進路・キャリア

埼玉県連合教育研究会の各事業は、会員【30,506名】の皆様の会費等により、運営されています

【会費の流れ】



平成29年度

教科等研究団体及び 埼玉大学附属小・中学校の 研究主題・研究内容 《21団体》

1. 国語教育

埼玉県国語教育研究会

1 研究主題

「生活に生きて働く国語の能力の育成をめざす授業の創造」

2 研究内容

学習指導要領の趣旨を生かし、基礎・基本の定着を図るとともに、興味関心を生かした多様な言語活動を工夫し、児童生徒の学習意欲を高めるための実践的研究を行う。

また、言語活動を充実させ、児童生徒の思考力・判断力・表現力を育てるとともに、言語感覚を豊かにするための実践的研究を行う。

2. 書写教育

埼玉県書写教育研究会

1 研究主題

「児童生徒が主体的に学ぶ書写授業の創造」
～確かな書写力の育成を目指して～

2 研究内容

日常に資する技能向上研修と実践的研究を行う。

- (1) 研究発表会・講演会（5月 研究成果の口頭発表）
- (2) 実技研修会（8月 教職員の技術向上）
- (3) 授業研究会（11月 授業力向上）
- (4) 硬筆展・書きぞめ展の開催（6月・1月）
- (5) 研究集録の発行（3月 研究成果の紙上発表）

3. 社会科教育

埼玉県社会科教育研究会

1 研究主題

- (小) 「社会がわかり、社会にかかわる子どもを育てる社会科学習」
- (中) 「追究する力を育てる社会科学習」

2 研究内容

実践的な研究として、

- (1) 小中学校地域学習研修会
- (2) ブロック別授業研究会
- (3) 研究発表大会【本年度は11月17日(金)に第34回関東地区ブロック中学校社会科教育研究大会埼玉大会を川越市の3中学校で開催】
- (4) 小学校社会科実践事例集第12集の発刊をする。
なお、次年度の10月25日(水)・26日(木)には、第56回全国小学校社会科研究協議会研究大会埼玉大会を川口市の3小学校で開催するために、全県を挙げ研究に邁進している。

4. 算数・数学教育

埼玉県算数数学教育研究会

1 研究主題

「学ぶ楽しさを味わう算数数学の学習をめざして」

2 研究内容

学習指導要領の趣旨を踏まえ、教材研究を深めるとともに、指導内容の系統を明らかにし、数学的活動を重視した学習指導が展開できるようにする。

そのために、児童生徒の学習意欲を喚起し、数理的な処理のよさや数学的な見方・考え方のよさに気付かせ、既習事項を活用できるよう学習過程での活動や指導の工夫に努め、指導と評価の一体化を図る。

5. 理科教育

埼玉県理科教育研究会

1 研究主題

「理科における資質・能力の育成」

2 研究内容

児童生徒が見通しをもって課題を設定し、観察・実験などを行い、根拠に基づく結論を導き出す過程を通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成するための学習指導の研究および実践を行う。

- (1) 問題解決の学習過程を重視した指導の工夫
- (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- (3) 問題解決の力を育成する指導の工夫
- (4) 日常生活や他教科との関連を図った授業提案
- (5) ICT機器の効果的な活用法の開発

6. 音楽教育

埼玉県音楽教育連盟

1 研究主題

「伝わる音楽」

～音楽を共有し、感性を豊かにする学びを通して～

2 研究内容

- (1) 音楽科における思考力・判断力・表現力を育む指導の充実
- (2) 表現領域と鑑賞領域の関連を図る指導の充実
- (3) 我が国の伝統的な音楽の指導の充実

7. 図画工作・美術教育

埼玉県美術教育連盟

1 研究主題

「きらめく感性 つくりだす喜び」

～子どもが輝く 生き生き授業～

2 研究内容

- (1) きらめく感性 つくりだす喜び
子どもが主体となり、意欲的に自らの世界を豊かにひらき、新たな自分をつくりだしていく姿を追求する。
- (2) 子どもが輝く 生き生き授業
感性を十分に働かせ、つくりだす喜びに溢れるような子どもの姿が実現する授業を目指し、研究する。

8. 保健体育教育

埼玉県保健体育研究会

1 研究主題

(小) 「各指導内容をバランスよく指導・評価し、運動の特性や魅力を味わわせる授業の工夫」

「健康・安全に関する内容を実践的に理解させる保健学習の工夫」

(中) 「生徒一人一人を伸ばす保健体育指導の実践」

2 研究内容

(小) 「跳の運動遊び・幅跳び、高跳び・走り幅跳び、走り高跳び」

「ボールゲーム・ゴール型ゲーム・ゴール型」

「保健」

(中) 「学習指導要領の趣旨を踏まえた評価の工夫」

「ダンスの特性に応じた効果的な学習指導の工夫」

「健康で安全な生活を営むための実践力を育てる保健学習の工夫」

9. 英語科教育

埼玉県英語教育研究会

1 研究主題

「児童生徒一人一人が積極的に活動し、

コミュニケーション能力を培う授業の創造」

2 研究内容

県内外の英語の学習指導や外国語活動の実践研究を基にした研修の場を設定し、コミュニケーション能力の育成を目指した授業研究を充実させながら、英語教育に関わる教員としての資質・能力の向上を図りたい。

また、日頃の学習指導の成果を発表する場として、中学生を対象とした英語弁論大会を開催し、指導教員及び生徒の意識の高揚を図りたい。

10. 道徳教育

埼玉県道徳教育研究会

1 研究主題

「今を生き・夢を持ち、

共に未来を拓く道徳教育の創造」

～学習指導要領が求める道徳教育の実現を通して～

2 研究内容

(1) 8月「夏季研修会」

教科化に向け、指導方法の改善について協議を行う。また、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官の澤田 浩一 氏の講演会を実施し、理論と実践の研究を深める。

(2) 11月「埼玉県道徳教育研究大会・越谷大会」

越谷市立大沢小学校を会場に栄進中、大沢小の小中一貫による授業研究会、東京学芸大学教職大学院教授の永田 繁雄 氏の講演会を実施し、授業実践と理論の両面から研鑽を深める。

11. 特別活動

埼玉県特別活動研究会

1 研究主題

「豊かなかかわりの中で自尊感情を

高める特別活動」

～基礎・基本を踏まえた集団活動の実践を通して～

2 研究内容

下記の重点を踏まえた理論と実践研究に取り組む。

(1) 豊かなかかわりの中で自尊感情を高める特別活動の指導計画について

(2) 豊かなかかわりの中で自尊感情を高める特別活動の指導と評価の方法について

12. 進路指導・キャリア教育

埼玉県進路指導・キャリア教育研究会

1 研究主題

「未来を見据え、主体的に生きる力を育てるキャリア教育」～小・中の連携を円滑に進めるための協同的な取組を通して～

2 研究内容

小・中9年間で身につけさせたい基礎的・汎用的能力と活動内容との関連表を、小・中学校の実践事例を踏まえて研究することにより、修正・改善を行っていく。

また、「学級活動を核とした中学校キャリア教育」を活用した実践を通して、小・中をつなぐ視点を踏まえ、実践を検証してまとめていく。

さらに、副読本『中学生活と進路』の県版部分を学年ごとに作成・編集する。

年3回、講師を招聘して、次期学習指導要における進路指導・キャリア教育の在り方について研究する。

13. 学校視聴覚教育

埼玉県学校視聴覚教育連絡協議会

《埼玉県学校視聴覚教育連盟》

1 研究主題

「自ら学び主体的に活動する力を育む
教育メディアの活用をめざして」
～楽しく学ぶ、進んで学ぶ、互いに学ぶ～

2 研究内容

本連盟に関わる各地区の団体において、教育メディアを活用した実践研究を進め、その研究成果の発表を実施して、視聴覚・情報教育教材教具のさらなる活用推進を図っている。

《埼玉県放送教育研究会》

1 研究主題

「だれもが考える力を育み 世界観をひろげる
埼玉の放送教育」
～ひろがる つながる 深まる～

2 研究内容

日々の授業や研究活動を充実させ、研究主題に迫る放送活用を推進し、授業研・メディア研・放送コンテスト等を通して授業研究等の成果を広く発表していく。

《埼玉県教育機器研究会》

1 研究主題

「児童生徒一人ひとりの心を大切に
教育機器の活用」

2 研究内容

本研究会にかかわる各地区の団体において具体的な

研究を推進し、その研究成果の発表を実施して、教育機器・情報教育教材の活用推進を図る。

14. 教育心理・教育相談

埼玉県教育心理・教育相談研究会

1 研究主題

「通常の学級における発達障害児童生徒等の
指導支援」
～社会性を育むスキル教育の実践と定着～

2 研究内容

- (1) 通常の学級等において発達障害を有する児童生徒をどう理解し、指導支援していくか、先行事例に学び、研究を深め、実践事例等を広める。
- (2) 社会性を育むスキル教育の実践と定着を図るため、各地区の事例や情報に基づいた研究を進める。
- (3) 定例の理事会・専門委員会において、教育心理・教育相談の課題等について研究協議を行う。

15. 特別支援教育

埼玉県特別支援教育研究会

1 研究主題

「幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを踏まえ、
自立と社会参加につながる指導・支援のあり方を
求めて」

2 研究内容

- (1) 幼児児童生徒一人一人の障害の状態及び発達の段階や特性等に応じた効果的な指導のあり方を追究する。
- (2) 発達障害等、学習や生活に特別な支援を必要とする児童生徒に対する指導のあり方を追究する。
- (3) 新しい時代の特別支援教育の課題に応じた教育について研究し、実践を進展させる。

16. 学校図書館教育

埼玉県学校図書館協議会

1 研究主題

「豊かな心と確かな学びを育む学校図書館の創造」
～主体的・協働的な深い学びを支える
学校図書館教育～

2 研究内容

- (1) 研究
学習指導要領の趣旨に基づき、学校図書館に関する管理運営・利用指導・読書指導・地域連携を中心に、学校・家庭・地域（公立図書館等・図書ボランティア）

ティア等)との連携を図り、学校の教育課程の展開に寄与する学校図書館を目指し研究を推進する。

(2) 事業

- ・集会 理事会、学校図書館研究大会、表彰式
- ・協議 第1～3回研究協議会、第1～3回研究部会
- ・研究 学校図書館授業研究会

(さいたま市立常盤中学校)

- ・表彰 読感文・読感画コンクール審査、表彰式
- ・刊行 埼玉SLA会報83・84号
感想文・感想画集「真珠」
- ・広報 夏休み・冬休みの推薦図書案内
- ・参加 学校図書館研究大会群馬大会(発表等)参加

(3) 調査

- 埼玉県学校図書館協議会沿革史CD-ROM化
(組織・総会資料・真珠、研究紀要等)

17. 技術・家庭科教育

埼玉県中学校技術・家庭科教育研究会

1 研究主題

「次代を担い、社会を生き抜く力を
はぐくむ学習指導の研究」

2 研究内容

昨年度の関ブロ埼玉大会にて、技術・家庭科の目標に示されている「進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度」を身に付けさせることを目的とし、そのための学習指導の在り方について研究に取り組み、その成果と評価の在り方について研究を行ってきた。

今年度は、各分野、内容毎に新学習指導要領に示された「技術の見方・考え方」を踏まえつつ、能力が身に付いた過程も含めた成果の検証を行う。

18. 小学校家庭科教育

埼玉県小学校家庭科教育研究会

1 研究主題

「自分の生活を見つめ、家庭生活を
よりよくしようと工夫し、実践する児童の育成」
～身近な消費生活と環境への関心を高め、関わり合
い、学び合う中で主体的に生活を工夫する力を育
てる家庭科学習～

2 研究内容

- (1) 行田市立埼玉小学校において、第48回埼玉県小学校家庭科教育研究協議会の開催
- (2) 夏季研修会において講演会の実施
- (3) 埼玉県小学校家庭科児童研究発表会の実施
- (4) 会報37号の編集と発行

19. 生活科・総合的な学習の時間教育

埼玉県生活科・総合的な学習の時間教育研究会

1 研究主題

「思考力・判断力・表現力を高める指導の工夫」

2 研究内容

生活科における思考力・判断力・表現力、総合的な学習の時間における思考力・判断力・表現力について、考え方を整理する。具体的な実践例を基に、思考力・判断力・表現力の現れについて考察するとともに、児童生徒が変容したきっかけについて分析をし、教師の適切な支援についても整理したい。

生活科、総合的な学習の時間の授業場面を類型化して、それぞれの場面で求められる思考力・判断力・表現力やその評価についても整理し、思考力・判断力・表現力を高めるための指導方法について研究を進める。

20. 埼玉大学教育学部附属小学校

埼玉大学教育学部附属小学校

1 研究主題

「「学びの本質」を育む授業の創造(6年次)」

2 研究内容

- 第85回小学校教育研究協議会
平成29年10月24日(火)・25日(水)に予定している。研究の6年次として、各教科、健康教育、おおとり(総合的な学習の時間)の授業公開、提案を行う。
- 校内授業研究会
個人の研究主題を基に、学校並びに教科の研究主題を踏まえ、授業を通して理論の検証を試み、全員で研究協議(質疑・グループ協議等)を行う。

21. 埼玉大学教育学部附属中学校

埼玉大学教育学部附属中学校

1 研究主題

「社会を主体的に生き抜くことができる生徒の育成」

2 研究内容

副題を「主体的な学びを実現する学習指導と評価の在り方」とし、「生徒の学びの自覚を促す形成的評価の工夫」と「各教科等の資質・能力をはかる問題(課題)と判定基準の設定」を研究の視点として、実践研究を行った。

平成29年度

地域教育研究団体の あゆみ

《15団体／55団体》

1. 蕨市教育研究会

会長 小松敏彦

本会は、蕨市立小学校7校、中学校3校の計10校の教職員260名を会員として、25の研究部で組織されている。

1 本研究会の目的

本会は、「生きる力」を育む学習指導要領の考え方にもとづき、小・中学校間の垣根を越えて、連携を深めながら、指導力の向上と教育の振興を目的として運営している。

2 研究主題

「生きる力」を育む蕨っ子の育成

3 主な事業

- (1) 運営委員会 年4回
- (2) 評議員会 年2回
- (3) 総会 平成29年5月11日(木)
- (4) 各研究部会の活動 6月～
調査研究・授業研究・視察・研究会
発表会・協議会・講演会等
- (5) 一斉研修日 平成29年11月16日(木)
- (6) 教育講演会 平成30年1月9日(火)
- (7) 研究集録発行

2. 朝霞市教育研究会

会長 谷井喜信

本会は、朝霞市内小学校10校、中学校5校、教職員数509名を会員として組織されている教育研究団体である。

1 本研究会の目的

公教育の理念に基づき、教育に関する研究の深化・進展を図り、会員相互の資質向上と朝霞市教育の振興を図ることを目的とする。

2 主な事業

- (1) 授業研究会、研究協議会、実技研修会等の開催
- (2) 教育に関する調査研究、視察

- (3) 各種教育団体との連携による事業の開催
- (4) 研究開発校への支援
- (5) その他、必要事項

3 成果と課題

授業研究会や小中連携事業をはじめ、保護者・地域との連携を深める取組等が、年々充実してきている。運動・文化面で活躍する児童生徒が増えてきており、落ち着いて生活している。次期学習指導要領の実施を見据え、一層各校の特色ある教育活動を展開していきたい。

3. 鴻巣市教育連合会

会長 小川隆二

本研究会は、鴻巣市内小学校19校、中学校8校に在籍する570名による教職員で組織され、23の教科領域等の研究部会で構成されている。

1 本研究会の目的

本会は、会員の自主的研究によって、教育各般の振興を図るとともに、会員相互の親睦を深めて鴻巣市教育の向上発展に貢献することを目的とする。

2 活動方針

豊かな心を持ち、主体的・創造的に生きる児童生徒の育成を目指して、着実な教育活動を実践し、鴻巣市小中学校の教育の充実と発展に努める。

3 主な事業

- (1) 各教科等主任研修会
主任会（文集「いぶき」作成、授業研究会、実技研修会、研修会、調査・研究、管外視察）
- (2) 展覧会等の実施
硬筆展、書きぞめ展、科学展、小中学校音楽会、小中学校児童生徒美術展、市内小学校球技大会・陸上大会 等
- (3) 理事会

4. 北本市教育研究会

会長 新井智明

本研究会は、小学校8校、中学校4校の会員数308名、19の研究部で組織されている。

1 本研究会の目的

本研究会は、日ごろの教育活動の充実を図るとともに、北本市内の教職員の資質・指導力の向上及び様々な教育課題を解決することを目的としている。

2 主な事業

- (1) 理事研究協議会
理事会、予算執行説明会、事業報告会、会計監査

- (2) 各教科等主任研修会
主任研修会、授業研究会、実技研修会、書きぞめ展、児童生徒科学展、小・中学校音楽会、児童生徒美術展、発明創意くふう展、読書感想文コンクール作品選考会、給食試食会、生活発表会、特別支援学級合同作品展
- (3) 北本市教育研究大会
各部の授業研究会を同日開催し、会員が研究したい教科等の授業研究会に参加し、指導力の向上に努める場とする。(本年度11部会実施)
- (4) 管外視察研修会(輪番制)

- ・5月6日(土) 於 入間市市民会館
演題 「入間市の教育」
入間市教育委員会教育長 西澤 泰男 氏
- ・8月23日(水) 於 入間市市民会館
演題 「ディズニーのホスピタリティ育成」
J S パートナー代表取締役 福島 文二郎 氏

- (2) 各研究部の活動
- ① 研究協議会、授業研究会、実技研修会
- ② 硬筆展、科学展、音楽会、美術展、書きぞめ展、発明創意くふう展、英語弁論大会、茶の花(文集)作成、特別支援学級作品展
- ③ 入間地区学力調査、報告会
- (3) 研究発表会
・11月10日(金) 小中一貫教育発表会

5. 狭山市教育研究会

会長 小 暮 恒 二

本研究会は、小学校15校、中学校8校、幼稚園2園に在籍する604名の教職員で構成されている。

1 本研究会の目的

本研究会は、自主的、創造的な教育研究活動を推進して、職能の向上を図り、本市教育の振興を期することを目的とする。

2 主な事業

- (1) 各教科・教科外等研究部研究協議会
・代表者会 ・現地研修会 ・授業研究会
・実技研修会 ・テーマ別研修会 ・指導案検討会 等
- (2) 各教科・教科外等の主な主催事業
・硬筆展、書きぞめ展 ・科学展 ・音楽会
・図工美術作品展 ・体力向上講演会
・発明創意くふう展 ・英語暗唱弁論大会 等
- (3) 定期総会・教育講演会
演題「市教育研究会に望むこと、期待すること」
講師 市教育委員会学校教育部長 井堀 広幸 氏
- (4) 三役研究協議会、理事研究協議会
- (5) 委嘱校・園の研究発表会
- (6) 教育研究集録作成

6. 入間市教育研究会

会長 須 田 昌

本研究会は、小学校16校、中学校11校に在籍する707名の教職員、33研究部で組織されている。

1 本研究会の目的

本会は、教職員相互の研修の充実と入間市教育の振興と充実を図ることを目的としている。

2 主な事業

- (1) 定期総会及び教育講演会、夏季教育講演会

7. 鶴ヶ島市教育委員会

会長 青 柳 高

本研究会は、鶴ヶ島市内小学校8校、中学校5校に在籍する教職員324名の会員とし、32の部会で組織されている。

1 本研究会の目的

本研究会は、会員の職能を向上し教育の振興を図ることを目的とする。

2 本年度の主な事業

- (1) 定期総会・教育講演会
5月9日(火) 於 鶴ヶ島市女性センター
演題 「夢をあきらめない」
講師 三菱商事株式会社
環境CSR推進部 高橋 勇市 氏
- (2) 各研究部の活動
主任研修会(研究協議会、授業研究会など)
主な主催事業
- ① 硬筆展 ② 科学展
③ 発明創意くふう展
④ 読書感想文審査会 ⑤ 科学展
⑥ なかよし作品展 ⑦ 小中音楽祭
⑧ 英語弁論大会 など
- (3) 研究会報の作成

8. 吉見教育研究会

会長 大 野 陽 康

本研究会は、小学校6校、中学校1校の教職員115名で組織され、32の教科領域等の部会で構成されている。

1 本研究会の目的

本会は、吉見町に在籍する教職員が主体となって、

職能の向上、教育の振興を図り、併せて会員相互の親睦修養を図ることを目的とする。

2 本年度の主な事業

- (1) 定期総会
5月9日(火) 於 吉見町民会館 (フレサよしみ)
- (2) 教育講演会
8月22日(火) 於 吉見町民会館 (フレサよしみ)
演題 「新学習指導要領改訂のポイント
～4つの視点を中心に～」
講師 西部教育事務所
主席指導主事 小熊 利明 氏
- (3) 学力向上のための県外視察
秋田県 11月17日(金)～18日(土)を予定
- (4) 各研究部の活動
 - ・主任研修会
研究協議会、授業研究会、実技研修会 等
 - ・主な主催事業
比企地区硬筆展・書きぞめ展、科学展 等

9. 秩父教育研究会

会長 黒田 富 衛

本研究会は、秩父郡市の小学校23校、中学校12校の会員数640名、28の研究部で組織されている。

1 本研究会の目的

本会は、本会教職員の資質の向上を図り、地域教育の振興に寄与することを目的とする。

2 主な事業

- (1) 理事研修会
4月14日(金)・7月13日(木)・2月7日(火)
- (2) 総 会
5月11日(木) 代議員による総会・組織づくり
- (3) 各研究部の活動
5月～2月 各研究部主催による研修会・授業研究会を実施
- (4) 教育講演会
8月4日(金) 秩父宮記念市民会館
演題 「“よい子の心”を考える」
講師 精神科医・立教大学現代心理学部
映像身体学科教授 香山 リカ 氏

10. 児玉郡本庄市教育研究会

会長 小 柳 百 代

本研究会は、本庄市、上里町、美里町、神川町の小学校24校、中学校8校に在籍する702名の教職員で組織され、30の教科領域等の研究会で構成されている。

1 本研究会の目的

本会は、児玉郡本庄市における教育研究会の活動を通して、児玉郡本庄市の小・中学校の教育振興を図ることを目的とする。

2 主な事業

- (1) 理事研修会及び総会
期日 5月9日(火)
会場 美里町コミュニティセンター
演題 「東児玉小学校諸規定から学ぶこと」
講師 美里町教育委員会教育長 南 幹生 氏
- (2) 各研究会の活動
 - ① 主任研修会
(研究協議会・授業研究会・実技研修会)
 - ② 主な主催事業
 - ・硬筆、書きぞめ展 ・科学教育振興展覧会
 - ・音楽会 ・各種美術展 ・英語弁論大会
 - ・家庭科研究発表会及び発明創意くふう展
- (3) 研究集録の作成
各研究会の研究概要をまとめる。

11. 熊谷市教育研究会

会長 島 村 明 義

本会は、熊谷市立小学校29校、中学校16校及び県立熊谷特別支援学校に在籍する教職員1,027名を会員として組織されている。

1 本研究会の目的

本会は、学校教育各般の研究により、会員の資質の向上を図り、熊谷市の学校教育の振興を図ることを目的とする。

2 主な事業

- (1) 各教科等主任研修会
研究課題に基づく調査研究活動、学習指導研究協議会、実技研修会、音楽会、競技会等の実施
- (2) 研究要録・会報の発行
- (3) 教育文化講演会
演題 「熊谷の先人たち」
講師 熊谷観光ボランティアガイドの会会長
米山 実 氏
- (4) 各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間及び中学英語 (ラウンド制)、小学校外国語活動 (モジュール制) の研究推進
- (5) 各学校における各教科等の研究への協力

12. 加須市教育研究会

会長 村田 和夫

本研究会は、加須市内の小学校22校、中学校8校の577名を会員とし、30の研究部で組織されている。

1 本研究部の目的

本研究部は、幼・小・中学校の幼稚園・学校教育の振興を図るとともに、相互の連携を密にし、職能の向上を図ることを目的とする。

2 主な事業

- (1) 会員の研修のための講演会、講習会
- (2) 発表会、研修会、視察調査等
- (3) 幼児、児童生徒の発表会、展覧会、協議会等
- (4) 会員や幼・小・中学校の研究助成
- (5) 各種教育関係団体、機関との連絡・提携

3 事業内容

- (1) 全員協議会 5月
- (2) 教育講演会 7月
- (3) 研究発表会（委嘱校）11月～1月
- (4) 陸上競技大会、硬筆展、科学展、音楽会、美術展、書きぞめ展等の開催（通年）

13. 越谷市教育研究会

会長 野口 久男

本研究会は、越谷市内小学校30校、中学校15校に在籍する教職員1,296名の会員によって組織されている。27の教科・教科外専門部会で構成されている。

1 本研究会の目的

本会は、越谷市内小中学校教育の振興と教職員の資質の向上を図ることを目的としている。

2 主な事業

- (1) 役員研究協議会 年3回
- (2) 理事・評議員会 年2回
- (3) 総会 5月
- (4) 研究大会・教育講演会（1月実施）
隔年で教育関係者・関係者外の講師を依頼
- (5) 各専門部会 年3～5回
授業研究会、講演会、実技研修会、現地研修会
児童生徒作品展、音楽会、陸上大会、英語弁論大会、特別支援学級合同宿泊等 企画・運営

14. 三郷市教育研究会

会長 鈴木 勉

本研究会は、小学校19校、中学校8校の教職員613名を会員とし、26の研究部で組織されている。

1 本研究会の目的

本研究会は、三郷市小中学校教育の振興を図るとともに会員相互の資質を高めることを目的とする。

2 本年度の主な事業

- (1) 定期総会・全員研修会
5月11日(木) 於 三郷市文化会館
演題 「自分も相手も大切に作る関わりに必要なこと」
講師 昭和大学大学院保健医療学研究科
准教授 副島 賢和 氏
- (2) 各研究部の活動
主任研修会
(研究協議会・授業研究会・実技研修会)
主な主催行事
① 硬筆展 ② 市内音楽会
③ 科学教育振興展覧会
④ 児童研究発表及び発明創意くふう展
⑤ 読書感想文審査会 ⑥ 英語弁論大会
⑦ 書きぞめ展 ⑧ 合同学習発表会
⑨ 市内美術展
- (3) 研究集録の作成

15. 蓮田市教育研究会

会長 石川 勉

本研究会は、小学校8校、中学校5校に在籍する合計290名の教職員によって構成されている。

1 本研究会の目的

本研究会は、蓮田市内の教職員の職能向上と教育の振興を図り、地域社会の文化の発展に貢献することを目的とする。

2 事業

- (1) 研究会・発表会・展覧会などの開催
- (2) 教育に関する研究助成
- (3) 会員の学術文化に関する研究助成
- (4) 社会教育の普及徹底
- (5) 青少年文化活動の研究振興 など

3 主な事業内容

- (1) 第1回理事・部長会 4月
- (2) 総会・全体研修会 5月
- (3) 全体研修会（人権教育） 8月
- (4) 各研究部の研究協議会実施（各部年3回） 通年
- (5) 硬筆展、科学展、発明創意くふう展、英語弁論大会、美術展、音楽会、書きぞめ展等の開催 通年
- (6) 第2回理事・部長会 1月

事務局だより

平成29年度本部事業計画

平成29年

- 4月3日(月) 各教育研究団体の役員名簿提出依頼
- 5月16日(火) 平成28年度本部会計監査会
- 6月16日(金) 第1回正副会長・理事研究協議会
評議員会(総会)・全体研究協議会
平成28年度教育研究論文入賞者表彰式
記念講演会
講師 上越教育大学教職大学院
教授 赤坂 真二 氏
- 6月28日(水) 教科等研究団体事務局長・
会計担当者研究協議会
- 7月19日(水) 第2回正副会長会
- 10月13日(金) 『会報第70号』発行及び全会員への配付
- 10月17日(火) 活動方針作成委員会
- 11月17日(金) 関東地区小中学校教育研究会連絡協議会
埼玉大会 (さいたま・大宮東中)
- 11月24日(金) 研究論文募集締め切り
- 12月13日(水) 第1回 編集委員会

平成30年

- 1月16日(火) 第2回 編集委員会
- 2月14日(水) 第3回正副会長研究協議会
- 2月20日(火) 平成29年度教育研究団体活動報告書提出
(日本教育公務員弘済会埼玉支部)
- 3月5日(月) 教科等教育研究団体会計監査会
6日(火) 教科等教育研究団体会計監査会
7日(水) 教科等教育研究団体会計監査会
- 3月9日(金) 『研究集録付研究論文集』発行及び配付
- 3月22日(木) 教育研究団体活動報告書提出
(埼玉県教育委員会・さいたま市教育委員会)

被表彰

平成29年度「身体障害者福祉のための第59回埼玉県児童生徒美術展覧会」において、埼玉県連合教育研究会会長賞を、次の児童・生徒さんが受賞されました。

おめでとうございます。

- 三郷市立吹上小学校 第3学年
高橋 駿太 さん
作品名 『木が宇宙にとび出した』
- さいたま市立馬宮中学校 第1学年
配島 理沙 さん
作品名 『びんの気持』

全国・関東地区教育研究大会後援

- 全国教育研究発表大会後援 (0団体)
・なし
- 関東地区教育研究発表大会後援 (3団体)
・第35回関東ブロック中学校社会科教育研究大会
埼玉大会
平成29年11月17日(金) ウェスタ川越
川越市立川越第一中学校
川越市立富士見中学校
川越市立城南中学校
- ・第9回関東地区特別活動研究協議大会 埼玉大会
平成29年8月7日(月) 埼玉会館
- ・第43回関東甲信越地区中学校進路研究協議会
埼玉大会
平成29年11月10日(金) 埼玉県立大学
越谷市立千間台中学校

『研究集録付研究論文集』原稿執筆研究団体

本会は、毎年3月に、『研究集録付研究論文集』を発行し、県内全小・中学校等へ配付しています。

そのため、『研究集録付研究論文集』の原稿執筆は、教科等研究団体及び地域教育研究団体にご協力をいただいています。

教科等研究団体には毎年、地域教育研究団体には、4年に1回執筆をしていただいております。旧教育事務所の秩父、児玉、大里、北埼玉は市町村合併により変則的に原稿執筆を依頼しています。平成29年度は、下記の15地域教育研究団体に原稿執筆をお願いいたします。

なお、会員の皆様には、所属の研究団体はもちろんですが、他の研究団体の研究および活動内容等についても是非ご覧になってください。

- ①戸田市教育研究会 ⑨秩父教育研究会
②和光市教育研究会 ⑩児玉郡本庄市教育研究会
③上尾市教育研究会 ⑪深谷市教育研究会
④川越市教育研究会 ⑫行田市教育研究会
⑤坂戸市教育研究会 ⑬久喜市教育研究会
⑥三芳町教育研究会 ⑭幸手市教育研究会
⑦小川班教育研究会 ⑮杉戸町教育研究会
⑧菅谷班教育研究会

関東地区小中学校教育研究会連絡協議会

埼玉県連合教育研究会は、関東地区7都県の研究団体で組織する「関東地区小中学校教育研究会連絡協議会」に所属し、年に一度、持ち回りで関東ブロック研究大会を開催しています。

本年度、さいたま市立大宮東中学校にて11月17日(金)第78回埼玉大会を開催します。

「関東地区小中学校教育研究会連絡協議会」の目的等

- 目的 小中学校の振興推進を図るため、連絡協議を行うことを目的とする。
- 事業 ① 各都県の研究活動、その他についての連絡
② 小中学校の研究の振興を図るための研修と協議
- 加盟研究団体 【10研究団体】
 - ・千葉県 = 千葉県教育研究会
 - ・茨城県 = 茨城県教育研究会
 - ・東京都 = 東京都小学校教育研究会連合
東京都公立中学校教育研究会
 - ・群馬県 = 群馬県小学校中学校教育研究会
 - ・神奈川県 = 神奈川県小学校教育研究会
神奈川県公立中学校教育研究会
 - ・栃木県 = 栃木県小学校教育研究会
栃木県中学校教育研究会
 - ・埼玉県 = 埼玉県連合教育研究会

埼玉県連合教育研究会事務局 所在地・連絡先

- ・さいたま市立大宮東中学校内
〒330-0804 さいたま市大宮区堀の内町1-99
☎ 048-641-0808 FAX 048-645-1922
E-mail saitamakenrengoukyouiku@jcom.home.ne.jp
※ JR東日本大宮駅から大宮東中学校までの徒歩での経路図
【JR東日本大宮駅東口より徒歩約13分間】



Q & Aコーナー 埼玉県連合教育研究会って？

Q 埼玉県連合教育研究会は、どのように結成されたのですか？

A 本研究会の発足以前は、県下の地域48団体、教科別など13団体、計61の研究団体が、それぞれ個別の研究活動をしていました。しかし、昭和34年ごろから連合体にまとめようという機運の高まりと国や県からの指導助言もあり、各研究団体のご尽力により、発会式が昭和39年1月18日(土)、浦和市武蔵野荘で盛大に行われました。その席上で、本研究会は、教科等の研究、調査、研究成果と資料の作成刊行など、教職員の研修活動を促進するとともに、研究団体相互の連絡を緊密にして県教育の振興に総合力を発揮することが決まりました。(本年度53年目)

Q 何故、事務局が大宮東中学校にあるのですか？

A 昭和39年の初年度は、会長の在勤校である大宮市立東中に置きましたが、その後、会長在勤の粕壁小や浦和高砂小等に移動した後、昭和56年度より現在までさいたま市立大宮東中学校に事務局が置かれています。別の施設に事務局を設置しようという考えもあったようですが、諸般の事情により現状の大宮東中学校の事務室に置かれています。正副会長会や事務局長等研究協議会等の主な会議等も大宮東中学校を会場として開催しています。

Q 何故、事務職員や栄養教諭・栄養職員は、会員ではないのですか？

A 市町村教育研究団体には、事務職員や栄養教諭・栄養職員の研究部等があるかと思います。しかし、本研究会に加盟する教科等研究団体には、事務、栄養・食育等の研究団体がありません。そのため、事務職員や栄養教諭・栄養職員の方は、埼玉県連合教育研究会の会員とはなりませんのでご了承ください。

**Q 週3日勤務の教員や年度途中の臨時的任用教員等は
会員としてカウントするのでしょうか？**

A 教員等の勤務形態はいろいろあり、それぞれについて、本研究会から会員としてカウントするかどうか具体的な指示はできません。あくまでも、任意団体への加入であり、結論的には、各地域教育研究団体の入会の判断基準に委ねさせていただきます。

なお、1つの視点として、会費納入に見合った恩恵を会員一人一人が得られるかどうかをお考えいただければと思います。

例えば、教科等研究団体の研究大会や研修会・講演会等への参加、研究論文への応募、会報の受領などの恩恵が会員として得られるかどうかという視点でお考えいただきたいと思います。

ただし、1/2勤務の方が半額の250円を納入し会員になるというようなことはできません。1/2勤務の方でも、加入する場合は、500円の会費納入が必要です。

**Q 会員一人一人の会費（年額500円）はどのように埼玉
県連合教育研究会に納められていますか？**

A 会員からの500円の会費は、各市町村教育研究団体の総会後に納められる会費と一緒に各市町村教育研究団体に納められ、その後、本研究会に会員数分の会費がまとめて納められます。

また、市町村によっては、本研究会の会費を市町村の公費で全額または半分程度負担していただいている市町村もあります。

そのため、各会員の皆様方にとっては、埼玉県連合教育研究会の会員であるという意識が薄くなってしまっているように感じています。

そこで、各市町村教育研究団体及び各学校の担当者の方々には、会費の徴収時に本研究会への会費の納入が同時に行われていることをお伝えいただきたいと思います。会費の流れについては、本会報の4ページをご覧ください。

**Q 埼玉県連合教育研究会について、もっと知りたいと
思いますが、総会資料や『研究集録付研究論文集』
は、どこで見ることができますか？**

A 本研究会の評議員会（総会）は、毎年6月中旬に開催していますが、総会終了後、研究論文応募要領ポスター等と一緒に、地域教育研究団体事務局を通して各学校に1冊ずつ配付しています。

また、『研究集録付研究論文集』は、毎年3月に各学校に1冊ずつ配付していますので、是非、評議員会（総会）資料とともにご覧ください。

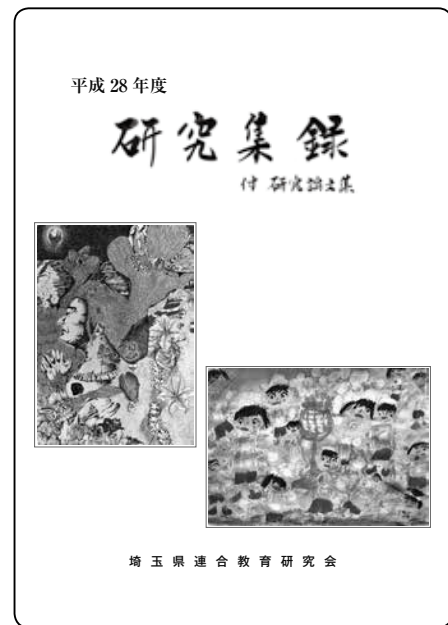
20周年記念誌「二十年のあゆみ」・40周年記念誌「四十年のあゆみ」も事務局にありますので、事務局

幹事にお声がけください。

**Q 総会後の記念講演会の講演録や研究論文の入賞論文を
読みたいと思いますが、どのようにすれば読めますか？**

A 本年度の記念講演会の講演録は、3月中、各学校に1部ずつ配付する『研究集録付研究論文集』に概要が掲載されています。

また、該当年度に入賞された秀逸な研究論文も掲載されています。先進的な教科等の研究内容や研究への取り組み方、研究論文の書き方など大変に参考になります。



**Q 埼玉県連合教育研究会が地域教育研究団体の講演会
に補助金を出していると聞きましたが、どの程度補助
してもらえるのですか？**

A 本研究会では、一年に1回、地域教育研究団体が主催する講演会の補助として、各団体の会員数に応じて、上限3万円・5万円・10万円・25万円の4段階の補助金を用意しています。

簡単な申請書や報告書の提出でご利用いただけますので、奮ってご利用ください。

なお、補助金のため経費が3万円に満たない場合には、実際にかかった金額を補助いたします。



【記念講演会 上越教育大学教職大学院教授

赤坂 真二 先生の講演風景】

平成29年度 研究論文募集要領

埼玉県連合教育研究会

平成29年度研究論文を下記の要領で募集いたします。何とぞ奮ってご応募ください。

記

1 目的

日々の教育実践の中から生まれた研究会員の皆様から募集し、これを広く発表することによって本県教育の振興に資する。

2 募集内容

教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間、外国語活動、進路指導・キャリア教育、視聴覚教育、教育心理・教育相談、特別支援教育、学校図書館教育等の児童生徒に直接かかわる実践的教育研究として、どのように計画し、仮説を立て実践し、さらに、その結果をどのように評価し、今後の教育実践にどう発展させるか等の研究であることとします。

3 応募資格

県内の公立小・中学校に勤務する教員の個人及びグループの研究（学校としての研究も含む）であることとします。

4 応募規程

原稿の書式は、A4判縦長・横書き、横24字×縦46行×2段組で、パソコン入力（Word）により、4～6枚以内（写真、図表を含む）とし、文体は常体（「である」体）を原則とします。

また、常用漢字・現代仮名遣いにするとともに、別に表紙を付け、表紙に①題名、②氏名（グループ代表者名）、③職名、④勤務校を記入してください。

5 応募上の留意点

研究論文は、紙上未発表のものにかぎりません。

応募原稿は、返却しませんので、あらかじめご了承ください。

6 応募票

希望者には、応募票を電子メールで送付しますので事務局へ電子メールでお申し出ください。

7 原稿等の提出

平成29年11月24日(金) 必着

応募票及び論文原稿の提出については、電子メールでの送付も併せてお願いします。

8 審査結果

審査結果は、平成30年2月上旬に各応募者に書面にて通知します。

9 表彰等

最優秀賞・入選・佳作等に選ばれた研究論文は、平成29年度『研究集録付研究論文集』に集録し、入選者は本会評議員会（総会）後の席上で表彰を行います。なお、研究資料費として入選論文には7万円（最優秀賞は10万円）、佳作論文には5万円、選外の応募者にも薄謝を進呈します。

また、教職経験10年未満の方を対象に新人奨励賞（3万円）を設けています。

10 審査員

本部役員および編集委員

11 提出・問い合わせ先

〒330-0804 さいたま市大宮区堀の内町1-99

埼玉県連合教育研究会事務局

さいたま市立大宮東中学校内

TEL 048-641-0808 FAX 048-645-1922

E-mail saitamakenrengoukyouiku@jcom.home.ne.jp

平成28年度 研究論文入賞者

<入 選>

○ 先行概念に沿った実験結果を相互に説明し合うことが科学概念の形成に及ぼす効果

～第5学年「振り子の運動」の学習を例にして～

羽生市立須影小学校 柿沼 宏充 教諭

<佳 作>

○ 次期学習指導要領で求められる資質・能力の育成を図る体育科における「アクティブ・ラーニング」の在り方

～児童一人一人の学習内容の確かな習得を図る

新教育課程型体育授業～

坂戸市立入西小学校 萩原 雄磨 教諭

<新人奨励賞>

○ 学び合い、高め合いを通して「自己効力感」「自己肯定感」を養う体育授業の工夫

～「集団達成」「協調学習」を活用した児童が

主体的に学び合う授業実践～

越谷市立増林小学校 八田 正登 教諭